

タイに暮らす皆様へ

# 狂犬病について知っていますか？

赴任の際に聞いたことはあるけれど。。。

狂犬病は発症してしまうとほぼ100%死亡にいたるといふ怖いウィルスです。あわてないために、しっかり知っておきましょう。

がぶっと咬まれた場合だけでなく、傷口をなめられたり子犬と遊んでいて感染してしまったという場合もあるので、決して他人事ではありません。

## 狂犬病とは

狂犬病ウィルスを保有するイヌ、ネコおよびリスなどの野生動物に咬まれたり、引っ搔かれたりしてできた傷口から侵入し、脳で増殖後発症する人獣共通感染症のこと。ウィルスは唾液の中にいて、感染してから発症するまで3週間から6ヶ月の潜伏期間がある。発症してしまうと治療法はない。

タイ語では『ローク・ピット・スナック・バー』といいます。



## 犬に咬まれたら、傷口をなめられたら

### ①石鹸できれいに洗浄、消毒

ただちに石鹸で洗い、最低でも10～15分流水で洗い流す。

狂犬病ウィルスは空気を嫌うため、バンドエイドはなるべく貼らない。

### ②すぐ病院へ

傷口の処置、ワクチン、場合によっては破傷風、血清を処方してもらう。

顔など脳に近い部分をかまれた場合は即刻病院に行ってください。

ワクチン接種は5回(0日、3日、7日、14日、30日)、

予防接種をしていて接種履歴がしっかり分かる場合は2回。

※海外保険証券、パスポートを忘れずに。

※どこで、いつ、飼い犬か野良犬にかまれたかなど伝えられるように。

### ③飼い主がいる犬の場合は2週間隔離し様子を観察する

かまれてから2週間以上その動物が狂犬病を示さない場合、狂犬病に感染した可能性を否定でき、ワクチンの接種を中止できる。



## 狂犬病の犬の症状

不機嫌、じっとしてられない。攻撃的な行動をとる。よだれをたらしている。麻痺があり、歩行困難で食べ物が飲み込めない。

攻撃的にならない犬もいるため、おとなしいから狂犬病ではないという判断はしないほうがいい。

## 感染した人の症状

強い不安感、一時的な錯乱、水を見ると首(頸部)の筋肉がけいれんする(恐水症)、冷たい風でも同様にけいれんする(恐風症)、高熱、麻痺、運動失調、全身けいれん。その後、呼吸障害等の症状を示し、死亡する。

むやみに犬や猫にさわらないようにし、  
かまれたらすぐに消毒し、病院に行きましょう

# 犬に咬まれないためにできること

犬にかまれてしまう人には共通した特徴があります。

犬が苦手な方、こんな行動してませんか？

- ①おどおどしてしまう
- ②逃げようとする
- ③走ってしまう
- ④大きな声を出す

飼い主さんに  
聞きました

犬は逃げていく人を見ると自分よりも弱いと思って追いかけてくたってしまうそうです。また、嫌だと思って、手や足で振り払ったりした際に犬は遊んでくれると勘違いしてしまい、かまれてしまうこともあるようです。

**犬に咬まれないためには 逃げない・見ない・走らない です！**

野良犬やリードをしていない犬に出会ったときなどびっくりせずに見ないふりをしましょう。

気付かない間に犬が嫌がることをしていませんか？

犬がびっくりしてしまう事、嫌な事もしないようにしましょう。

- ①しっぽをつかまれる
- ②後ろからさわられる
- ③上から押さえつけるようにさわられる。



**飼い主さんにさわっても良いか聞きましょう。**

動物好きなお子さんをお持ちのお母様、お父様、気にかけてあげて下さいね。

## ベテラン飼い主さんからのアドバイス

飼い主さんが気をつけていること+初心者飼い主さんへのアドバイス

- ①リードを付ける
- ②すぐに抱きかかえられるように心の準備しておく
- ③犬嫌いな人のことを考える
- ④かかりつけのペット病院を持つ
- ⑤いつでも帰国ができるよう検疫等に備えて準備しておく  
(国により書類、期間等は異なります)

かかりつけの病院があれば、ワクチンや狂犬病の注射の時期も忘れずにペットの健康も保てますね。狂犬病のワクチンは初年は2回、毎年1回受けるようにしてください。

周りと上手にお付き合いをしている飼い主さんは「ペットのしたことは自分のしたこと」と言う考えで、ペット、周りの人、自分に責任感をお持ちです。

いろいろな人種、考え方の人がいるタイでの生活、野良犬に気をつけて、飼い主さん、ペットと仲良くお付き合いしたいですね。

